



Minebea

ミネベア株式会社決算説明会

2005年3月期第3四半期決算

2005 (平成17)年 2月4日

代表取締役 社長執行役員 山本 次男

2005年3月期第3四半期 連結業績

(百万円)	2004/3期		----- 2005/3期 -----		3Q 伸び率	
	3Q	2Q	3Q		前年同期比	前四半期比
売上高	68,728	75,427	75,180		+9.4%	-0.3%
営業利益	4,531	2,666	4,165		-8.1%	+56.2%
経常利益	3,707	1,903	2,950		-20.4%	+55.0%
税引前利益	3,590	1,454	2,445		-31.9%	+68.2%
純利益	1,622	887	1,575		-2.9%	+77.6%

営業利益は2Qから改善。機械加工品事業の収益性が向上。

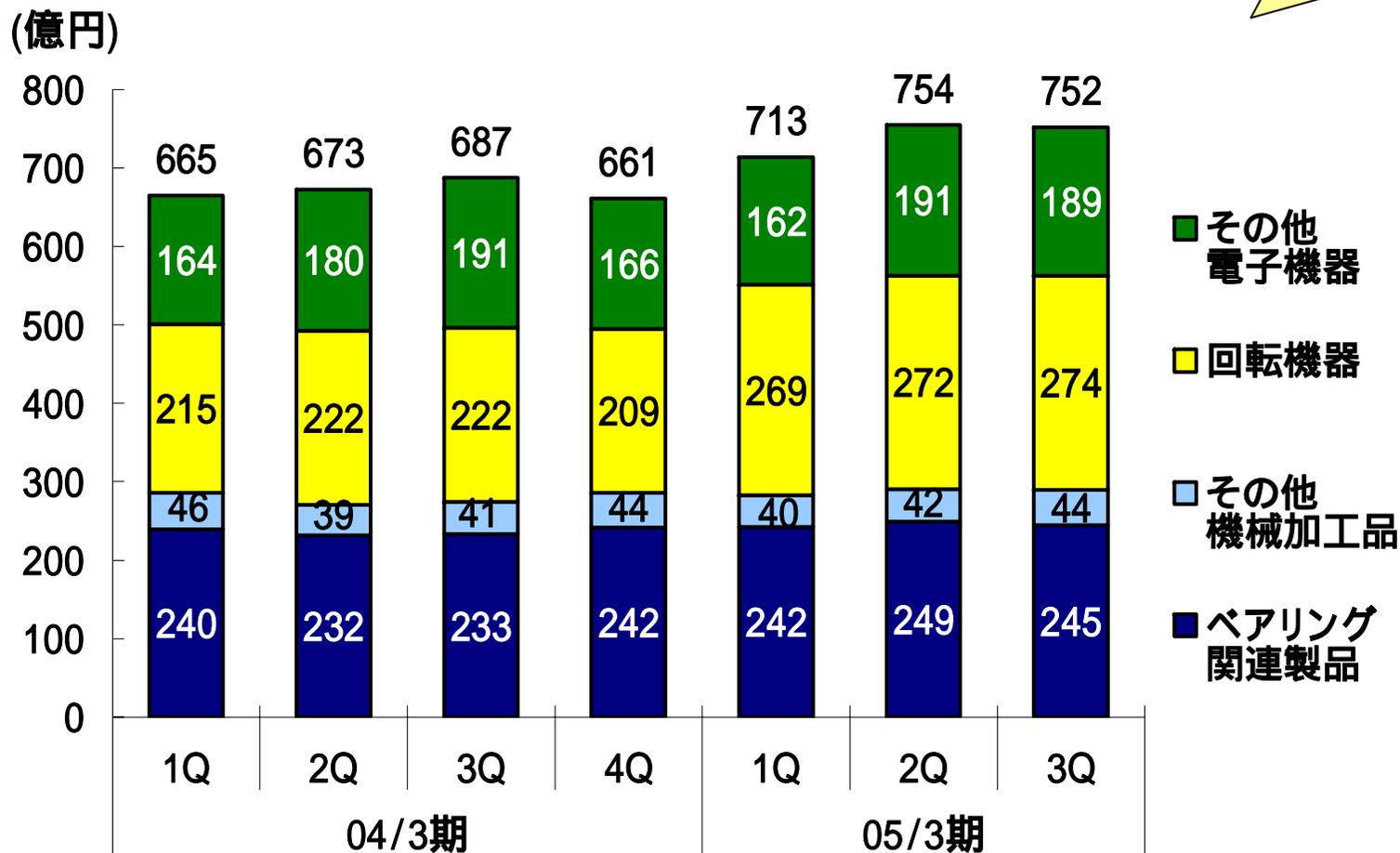
第3四半期 セグメント別収益

(百万円)	----- 2004/3期 -----				----- 2005/3期 -----			3Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	前年同期比	前四半期比
(売上高)									
機械加工品	28,606	27,059	27,434	28,593	28,256	29,094	28,927	+5.4%	-0.6%
ベアリング関連製品	23,959	23,169	23,324	24,152	24,247	24,906	24,491	+5.0%	-1.7%
その他機械加工品	4,646	3,892	4,109	4,442	4,009	4,188	4,436	+8.0%	+5.9%
電子機器	37,883	40,193	41,294	37,511	43,067	46,333	46,254	+12.0%	-0.2%
回転機器	21,458	22,184	22,209	20,890	26,852	27,209	27,350	+23.1%	+0.5%
その他電子機器	16,424	18,011	19,084	16,622	16,216	19,124	18,903	-0.9%	-1.2%
合計	66,489	67,252	68,728	66,105	71,324	75,427	75,180	+9.4%	-0.3%
(営業利益)									
機械加工品	4,908	4,270	5,035	5,292	5,082	5,396	5,952	+18.2%	+10.3%
電子機器	648	937	503	1,186	2,279	2,731	1,786	-	-
合計	4,259	5,208	4,531	4,106	2,802	2,666	4,165	-8.1%	+56.2%

セグメント別売上高推移

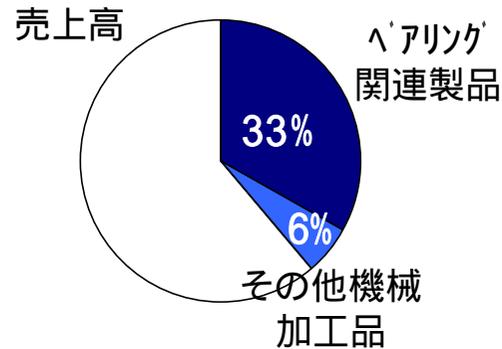
2Q比では、HDDスピンドルモーター、ファンモーター、キーボードの売上高が増加。

ボールベアリングの売上高が減少。

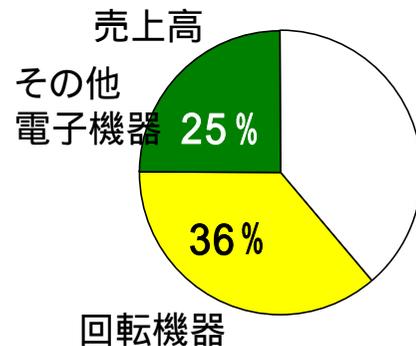


売上高詳細

機械加工品セグメント



電子機器セグメント



ベアリング関連製品

ボールベアリング：(売上高比率 21%) 前四半期(2Q)比 - 6%
12月の季節要因、国内需要が軟調

ロッドエンド・スフェリカルベアリング：(5%) +7% 航空機向けが好調

ピボットアセンブリ：(7%) +7% HDD需要増加、小型HDD需要増加

回転機器

HDDスピンドルモーター：(12%) +8% 3.5" HDD向け販売増加

ファンモーター：(11%) +8% PC・サーバ向け増加

ステッピングモーター：(7%) -7% PME-ターの販売減

ブラシ付DC & 振動モーター：(6%) -12% ブラシ付DCモーターの販売減

その他電子機器

キーボード：(11%) +7% デスク向けが増加、過去最高の水準

エレクトロデバイス：(7%) -5% 携帯電話の需要低迷で、バックライト伸び悩む

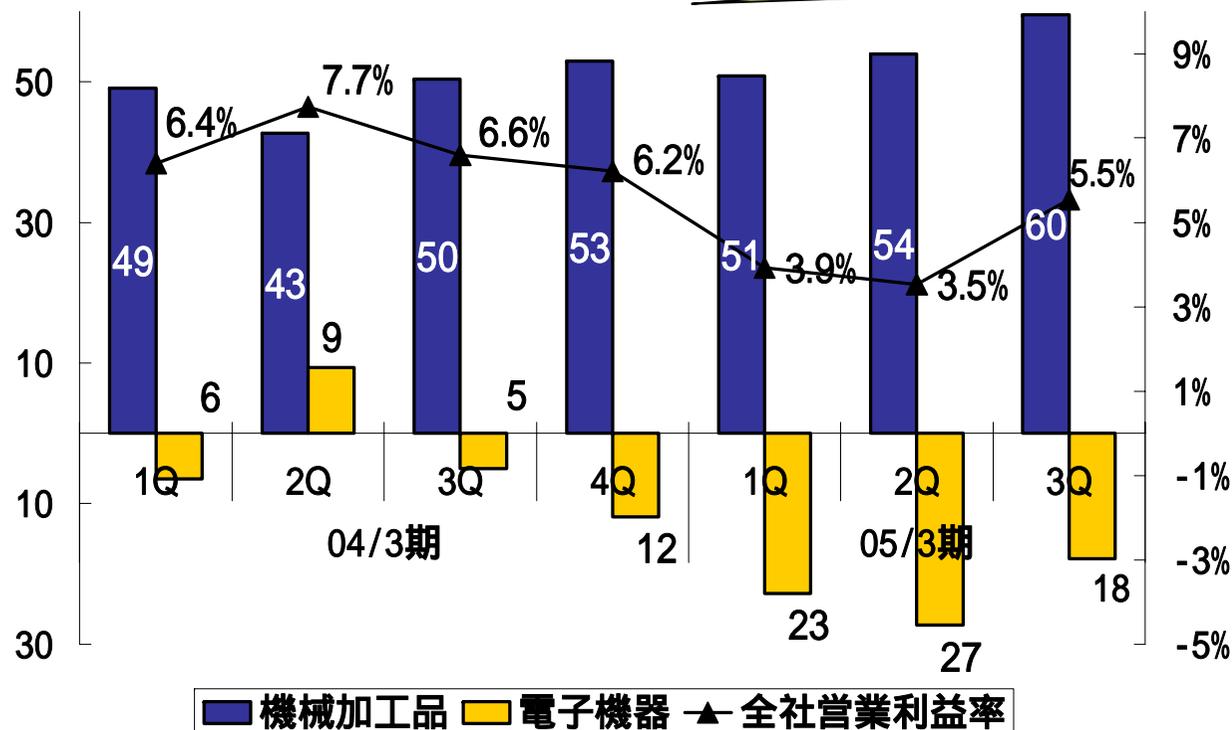
スピーカー：(4%) -7% PC向け好調だが、オーディオ向けが減少

計測機器：(3%) -9% 自動車向けが減少

セグメント別営業利益推移

機械加工品事業の収益性が大幅向上、営業利益率が20%超に。ベアリングを中心としたコスト競争力強化や新製品開発の施策が奏功。

(億円)

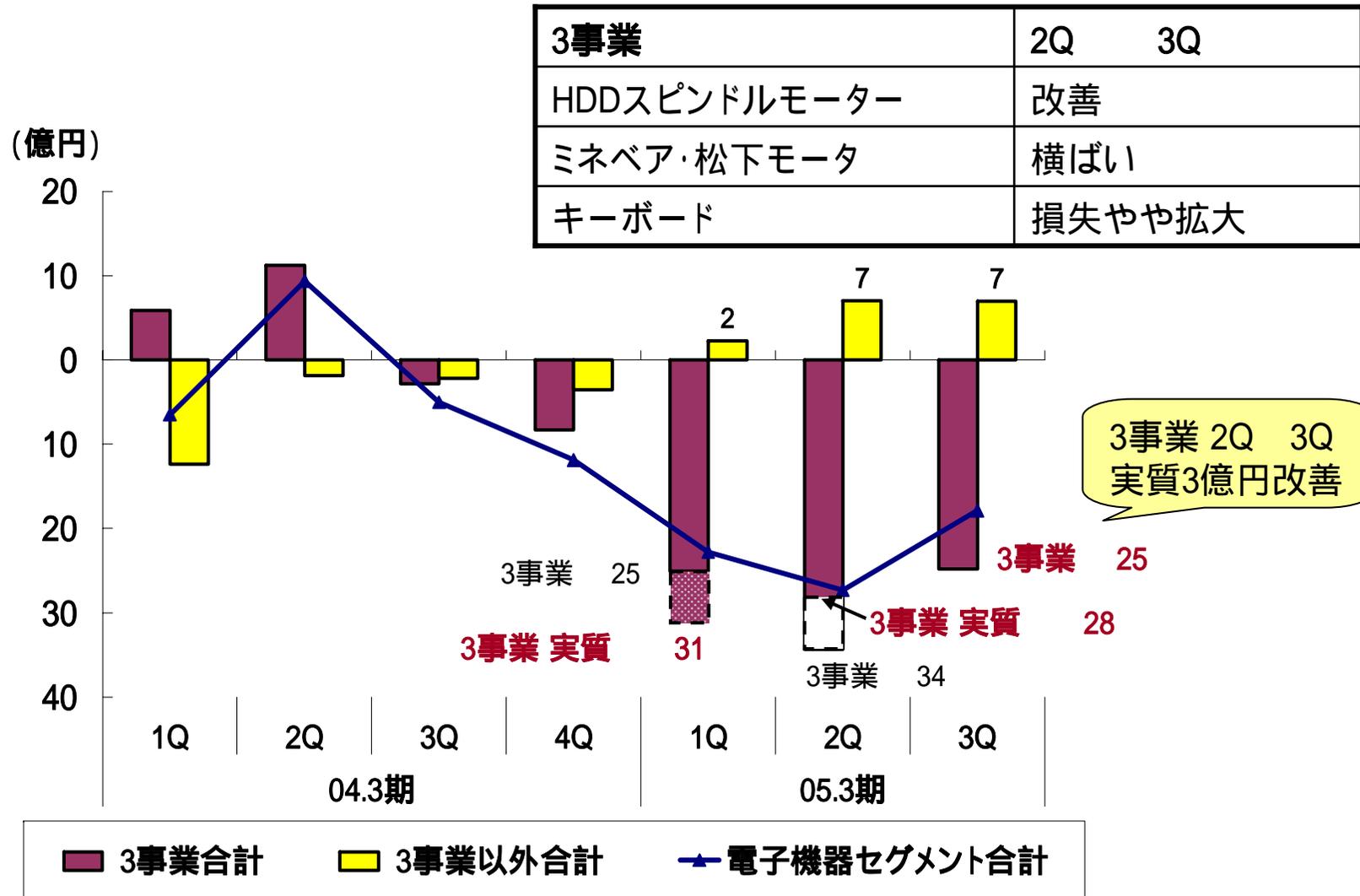


営業利益率

	04/3期				05/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械加工品	17.2%	15.8%	18.4%	18.5%	18.0%	18.5%	20.6%
電子機器	-1.7%	2.3%	-1.2%	-3.2%	-5.3%	-5.9%	-3.9%
全社	6.4%	7.7%	6.6%	6.2%	3.9%	3.5%	5.5%

各セグメントの営業利益率は外部顧客に対する売上高ベース

電子機器セグメント営業損益内訳



営業利益分析

2Qとの比較

売上高 : 主要製品は数量増加だが、販売単価下落と円高による影響で減収。

営業利益 : 販売単価下落と原材料費上昇の影響があったが、数量増効果、原価低減と販管費削減の効果で増益。

営業利益内訳

(億円)	2Q実績	3Q実績	2Q比	対計画
機械加工品	54 →	60	+ 6	+ 2
電子機器	27 →	18	+ 9	- 3
3事業	34 →	25	+ 9	- 4
3事業以外	7 →	7	+ 0	+ 1
合計	27 →	42	+ 15	- 1

機械加工品

ピボットアセンブリーの採算性が計画を上回って向上。ボールベアリングとロッドエンドも好調。

電子機器

3事業のうちHDDスピンドルモーターの損益が改善、しかしMMMCとキーボードが計画を下回る。

2QにMMMCでロイヤリティ半年分を一括計上

3Q、3事業は2Q比
実質3億円改善

HDDスピンドルモーター

◆ コスト削減を推進

3Qから成果

部品製造コストの低減

販売単価は下げ止まり感

◆ 新FDBユニット生産ライン 建設中

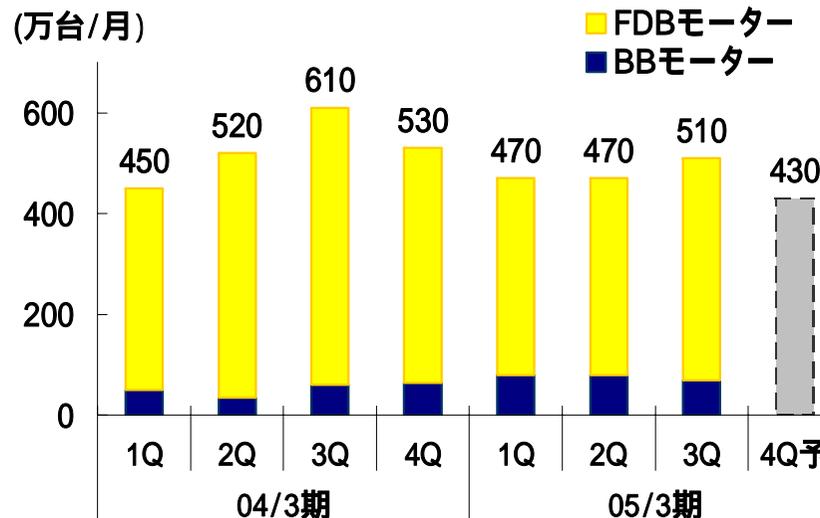
バンパイン(タイ)工場に2月
完成予定

◆ ROFタイプ 3.5”HDD用FDBモーター 2.5”HDD用FDBモーター

両製品とも、承認活動が順調に進展

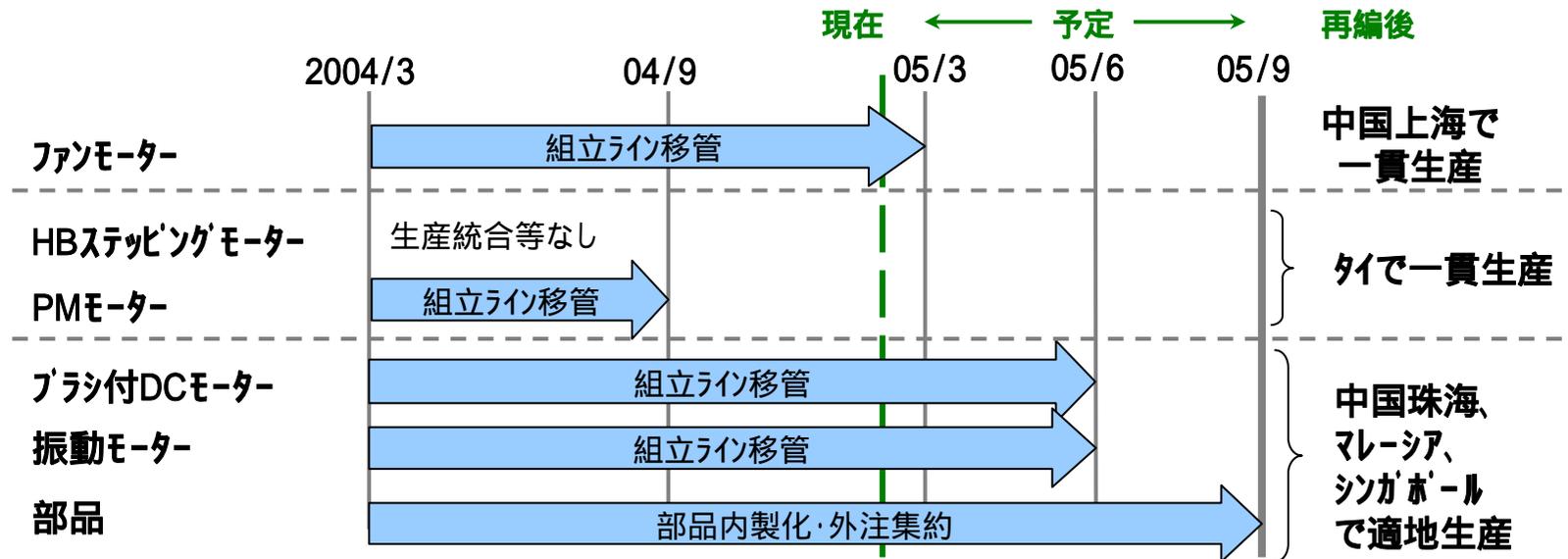
2005年4-6月期中に量産納入開始見込み

HDDスピンドルモーター販売数量推移・見込み



ミネベア・松下モータ合併事業

◆ 製造統合 ~ 生産拠点の最適化



来期上期に再編が終了。本格的な改善効果は来期下期から。

◆ ロイヤリティ見直しを継続中。

キーボード

- ◆ **販売は過去最高の水準**
デスク用シェア拡大。
- ◆ **上海SSTへの生産移管を引き続き実施**
ノート用の移管作業をスタート。
- ◆ **製造原価の低減**
モールド部品の内製比率の引き上げに注力。
- ◆ **原材料価格高騰への対応**
販売価格値上げ交渉を実施中。

ボールベアリング

◆ 高水準な収益性を維持

ピボットアッセンブリーとの相乗効果を実現。

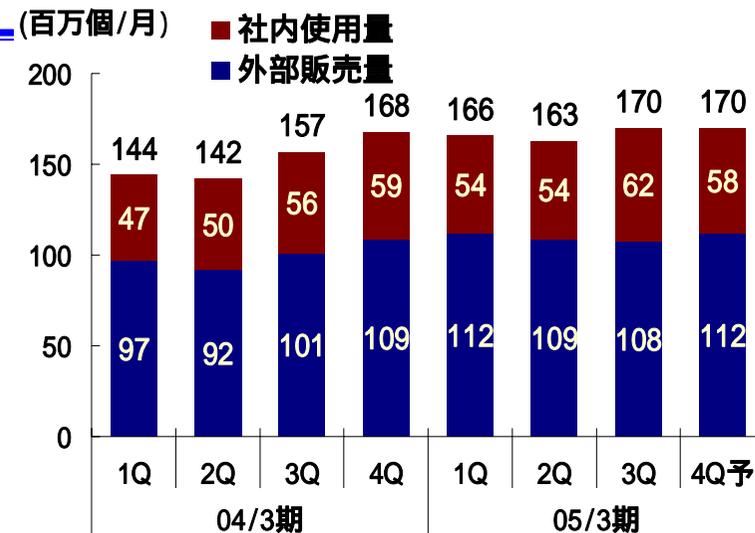
原材料価格上昇と円高及びタイヤパーツ高の影響を生産性向上で吸収。

◆ 3月生産販売1億8,000万個目標

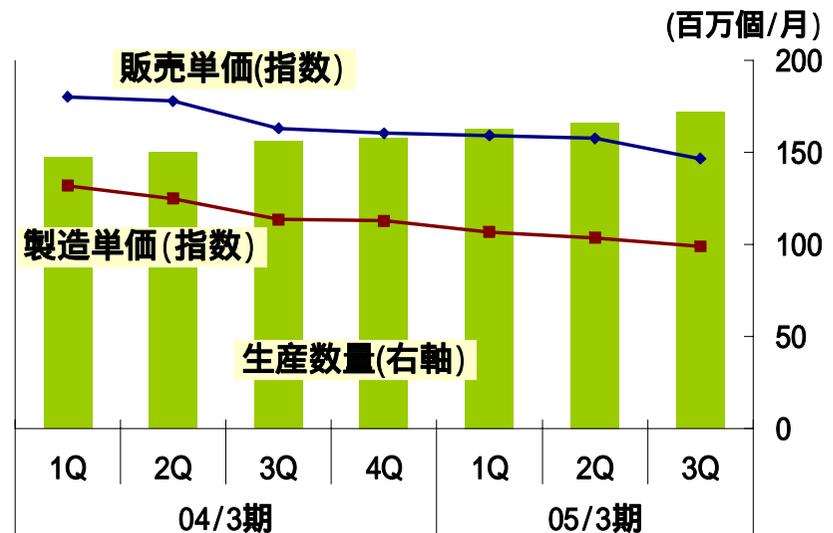
小型HDD用ピボットアッセンブリー増産への対応

- 1.8” & 1.0”HDD用ピボットアッセンブリー向けのベアリングの生産を増強。

ミニチュア・小径ボールベアリング 販売数量推移



ミニチュア・小径ボールベアリング 販売・製造単価推移



第3四半期 用途別売上高・地域別売上高

2Q比、PC向けにキーボードとHDDスピンドルモーターが増加。
家電機器向けにボールベアリングとブラシ付DCモーター、
自動車向けにスピーカーが減少。

用途別売上高

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信機器(OA)	PC及び周辺機器	モーター	その他	合計
売上高比率	9.5%	8.4%	8.8%	16.0%	39.7%	5.0%	12.6%	100.0%
前四半期比 伸び率 (2Q比)	-10.0%	+2.0%	-15.6%	+3.1%	+4.0%	+2.3%	+0.5%	-0.3%
前年同期比 伸び率 (前年度3Q比)	+36.8%	+6.8%	+16.7%	+53.4%	-8.6%	+6.0%	+19.9%	+9.4%

地域別売上高

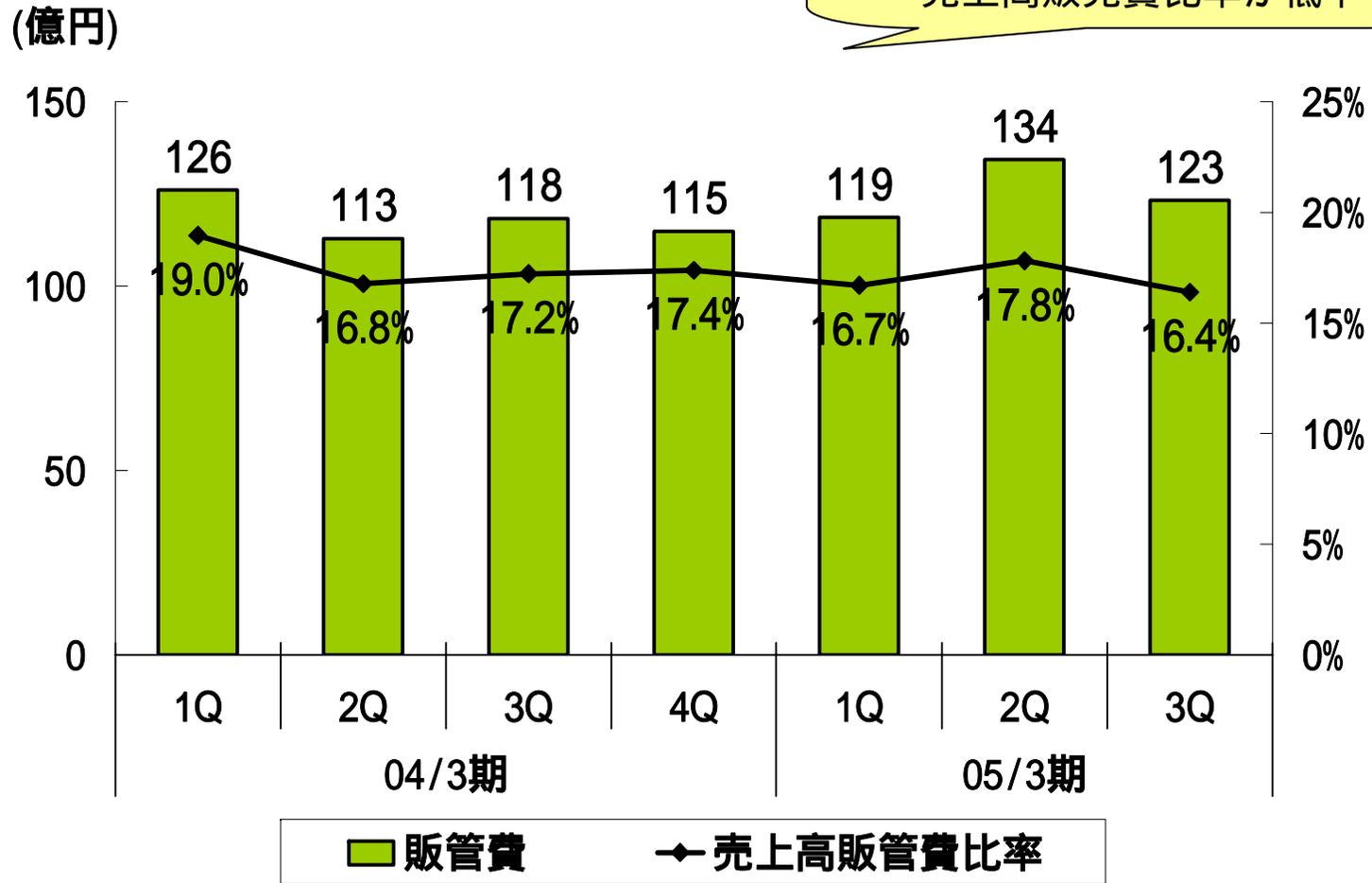
	日本	アジア (除 日本)	北米・南米	欧州	合計
売上高比率	25.3%	49.1%	15.4%	10.3%	100.0%
前四半期比 伸び率 (2Q比)	-5.3%	+3.7%	-8.8%	+8.5%	-0.3%
前年同期比 伸び率 (前年度3Q比)	+7.7%	+17.7%	-2.4%	-2.1%	+9.4%

為替の影響を除くと、
アジアは2Q比 7%増、
北米・南米 6%減。

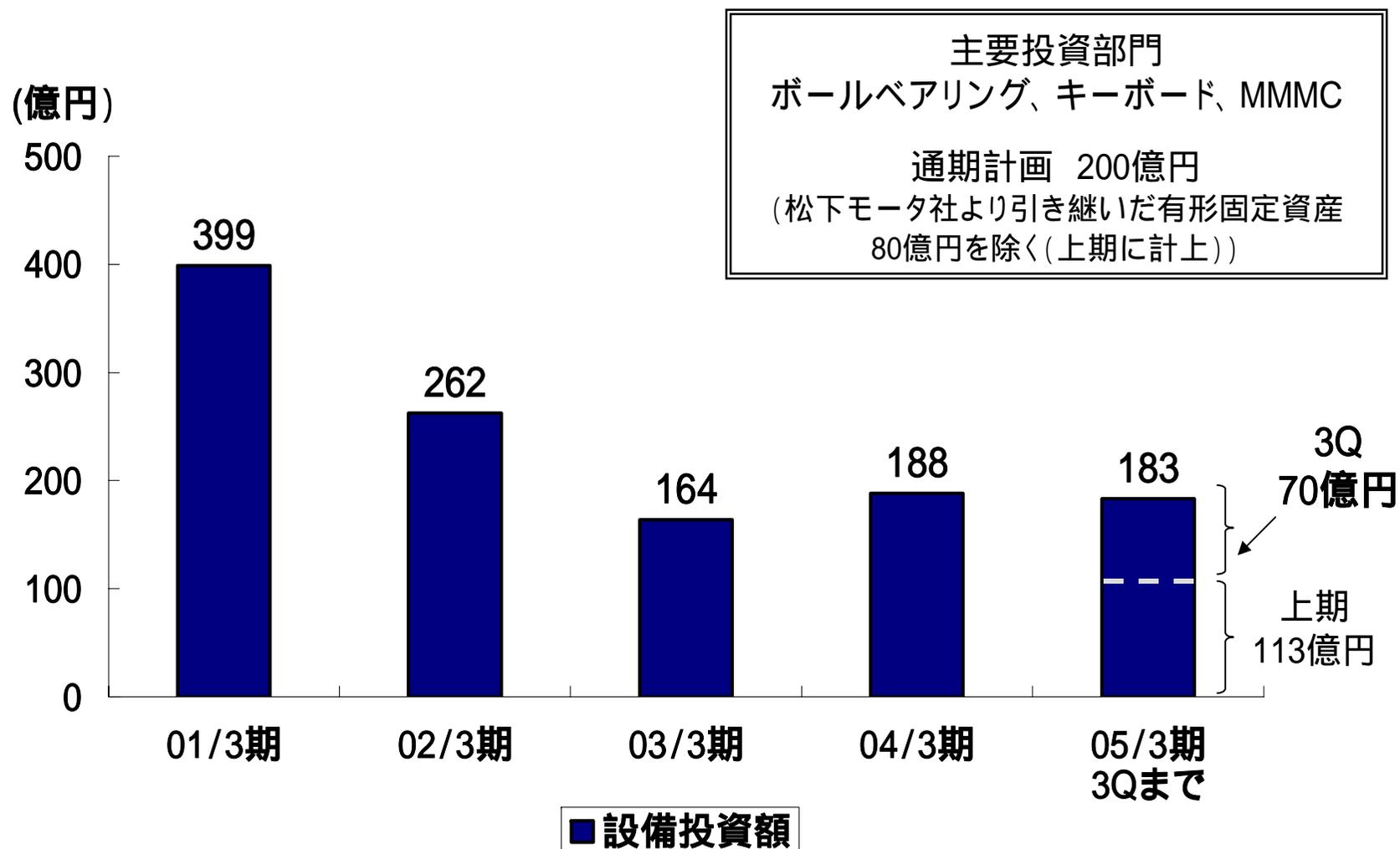
中華圏の売上高
現地通貨ベース
2Q比 10%増。

販管費

販管費削減を継続
売上高販売費比率が低下

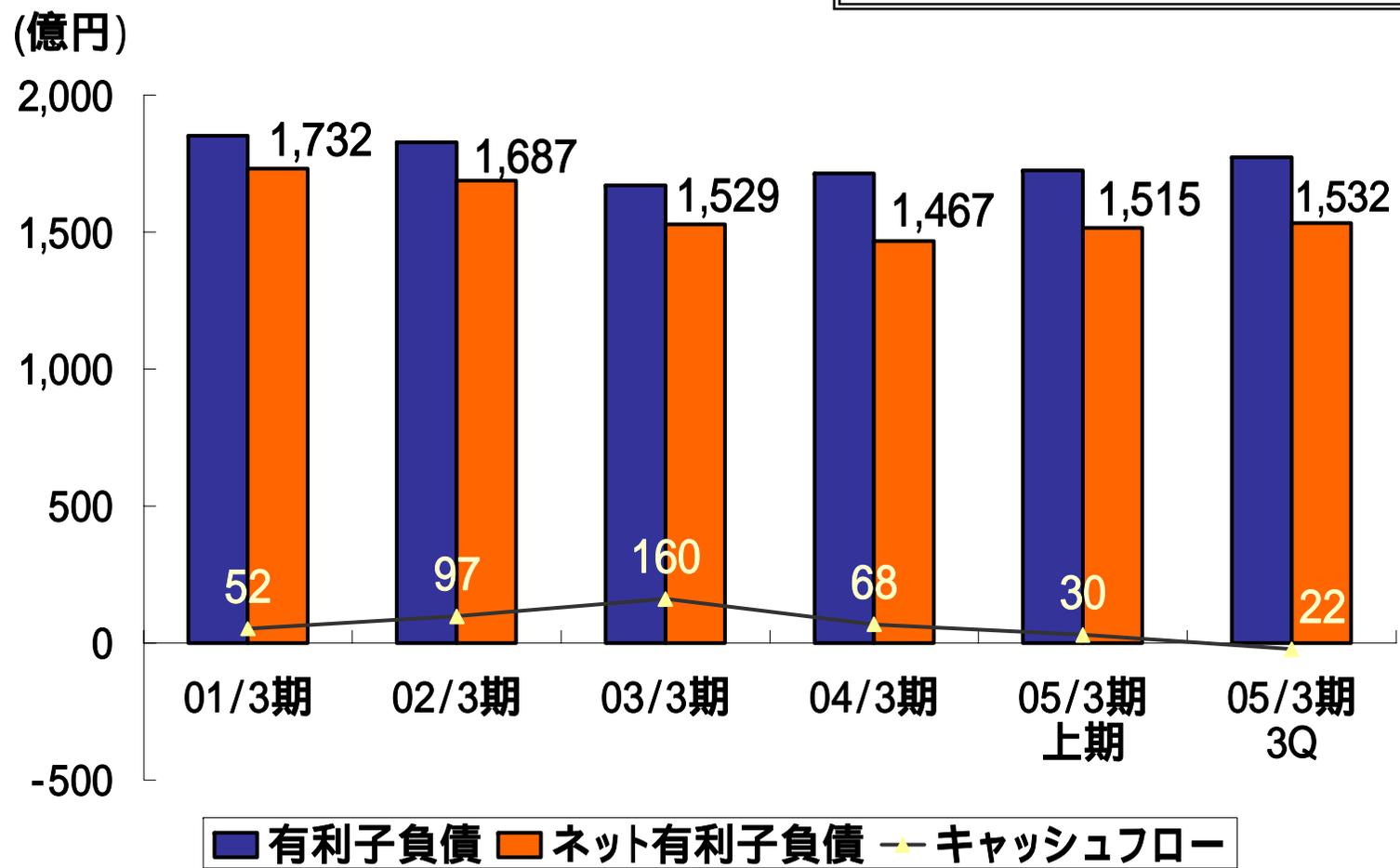


設備投資額



有利子負債

3月末までに50億円強削減見込み



キャッシュフロー = 営業活動CF - 投資活動CF

減損会計の影響について

- 来期(2006年3月期)から減損会計を導入。
- 今期末、遊休有形固定資産の減損処理を前倒して実施
特別損失約10億円を計上予定。

遊休有形固定資産合計	39億円
うち土地・建物	38億円
うち構築物・機械及び装置・工具器具等	1億円
土地・建物 鑑定評価額	29億円
2005年3月末減損損失計上額見込み	約10億円

注:2004年12月時の監査評価をもとに試算。
今後の評価額により減損額が変更する可能性あり。

第4四半期の業績について

◆ 通期業績予想は変更なし

営業利益内訳

(億円)	3Q実績	4Q予定	下期予定
機械加工品	60	55	115
電子機器	18	12	30
合計	42	43	85

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、または現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。